

第30期 株主通信

2025年3月期 報告書

(2024年4月1日～2025年3月31日)



Assuring Growth and
Success with IT.

ITで、確かな成長と成功を。



AGS株式会社

証券コード：3648

社長メッセージ



代表取締役社長 中野 真治

株主の皆様には日頃よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第30期株主通信をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復基調となりました。景気の先行きについては、物価上昇の継続による消費者マインドの悪化や、米国の今後の政策動向などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属します情報サービス産業におきましては、地方公共団体の基幹業務システム標準化推進や、老朽化が懸念される民間企業の基幹システム刷新、さらに官民を問わず、生成AIの活用をはじめとしたデジタルトランスフォーメーション（DX）推進の更なる加速が期待されてお

売上高

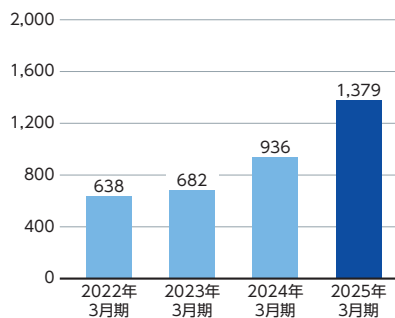
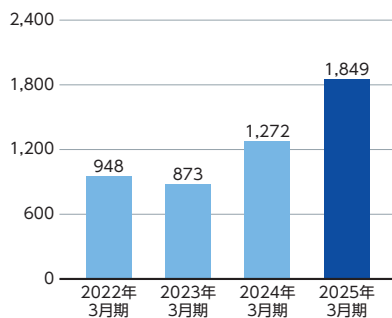
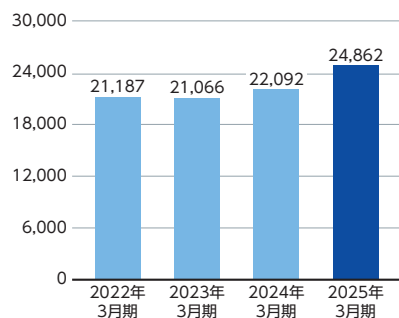
(単位：百万円)

営業利益

(単位：百万円)

親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位：百万円)



ります。また、組織を標的としたサイバー攻撃による被害が増加しており、自社の防衛策のみならず関係する外部組織も含めたセキュリティ対策の重要性が高まっており、今後も中長期的に市場規模の拡大が継続するものとみられます。

このような経営環境の下、当社グループの第一期中期経営計画の最終年度となる当連結会計年度におきましては、ソフトウェア開発をはじめとする大型案件の確実な遂行、「さいたま i D C」による情報処理サービスやインフラ・セキュリティビジネスの拡大、及び S D G s 推進による社会課題の解決に向けた D X ソリューションの販売強化等に注力してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、ソフトウェア開発をはじめとする全てのセグメントが堅調に推移したことから、売上高は24,862百万円（前連結会計年度比12.5%増）となりました。

利益面では、売上高の増加及び生産性や利益率の向上などにより、営業利益は1,849百万円（前連結会計年度比45.4%増）、経常利益は1,900百万円（同47.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,379百万円（同47.3%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

剰余金の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけ、経営基盤の強化、今後の事業の拡充、連結業績等を勘案しながら、配当性向30%を目安に、安定した利益配分を行っていくことを基本方針としております。

つきましては、2025年3月期の期末配当金は1株当たり16.0円とさせていただきますことといたしました。

なお、2025年3月期は、配当総額402百万円を実施し、配当性向は29.3%となっておりますが、配当額に自己株式の取得価額（240百万円）を加えて算出する総還元性向は46.6%となっております。

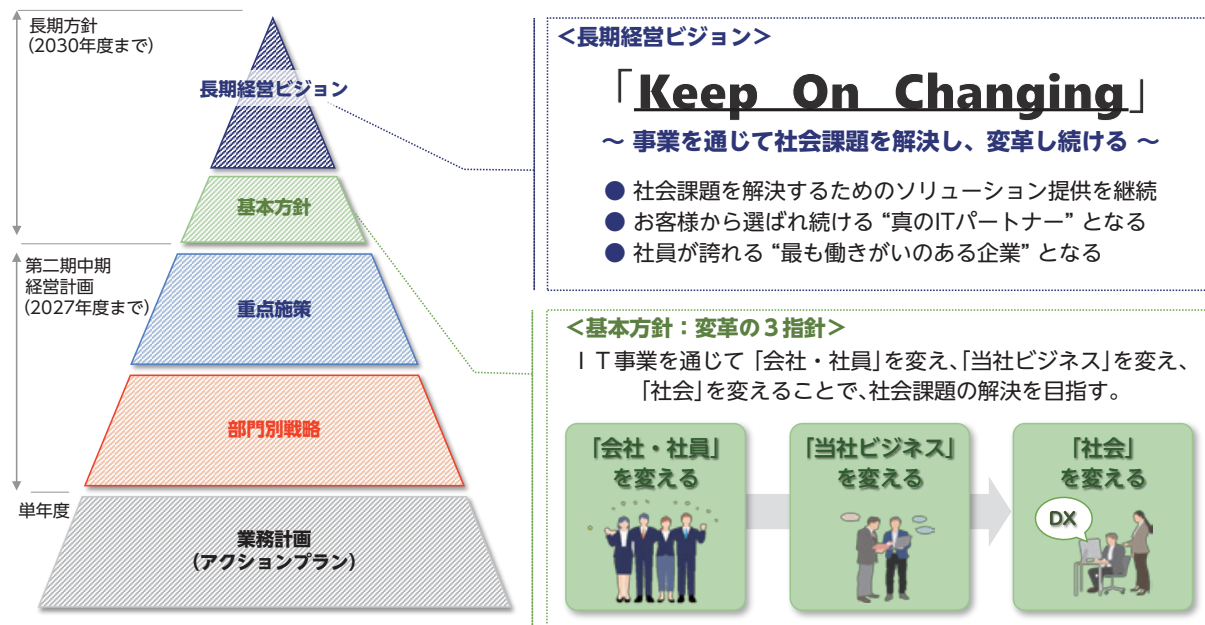
	第30期 2025年3月期	第31期 2026年3月期(予想)
中間期末	8.0円	14.0円
期末	16.0円	14.0円
年間	24.0円	28.0円

AGSグループ第二期中期経営計画

長期経営ビジョン「Keep On Changing ～ 事業を通じて社会課題を解決し、変革し続ける ～」のもと、第一期中期経営計画（2022～2024年度）では、DX・クラウドインテグレーションに係るビジネスの強化や人材育成を進めてまいりました。

第二期中期経営計画（2025～2027年度）では、市場・顧客ニーズの高まりを踏まえ、お客様のクラウド活用、ITインフラ管理、セキュリティ対策強化を総合的に支援する「クラウド・インフラセキュリティビジネス」にさらに注力する方針といたしました。

今後も、お客様に信頼され、選ばれ続けるITパートナーとして、お客様に価値あるサービスを提供し、社会課題の解決に貢献してまいります。



重点施策

目指す姿

クラウド時代においてもお客様から選ばれ続けるITパートナーとなる

KPI

クラウド・インフラ
セキュリティ売上

50%増

クラウド・インフラ
セキュリティ人材

倍増

重点施策

1 クラウド・インフラセキュリティビジネスの推進

お客様のニーズに合わせたクラウドサービスの組合せによる短納期・高品質なシステム導入や、信頼性の高いインフラ構築、お客様資産を守るサイバー攻撃対策を総合的に支援する。

2 コアビジネスの深化

お客様とのリレーション拡大を推進するとともに、基幹システム更改等の主要案件を着実に遂行する。高速開発ツール・生成AIの活用を通じて、より質の高いサービスをお客様に提供する。

3 人事戦略の推進

将来の事業構想の実現に向けて、人材の育成・採用・配置を戦略的に展開する。社員一人ひとりが自身の成長を実感して働くことができる環境を実現していく。

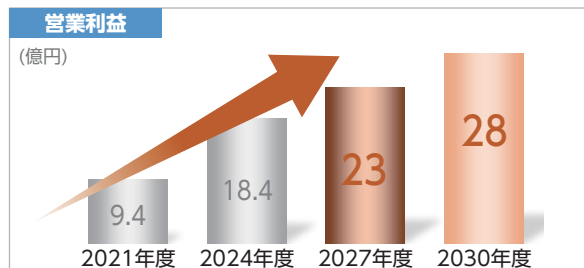
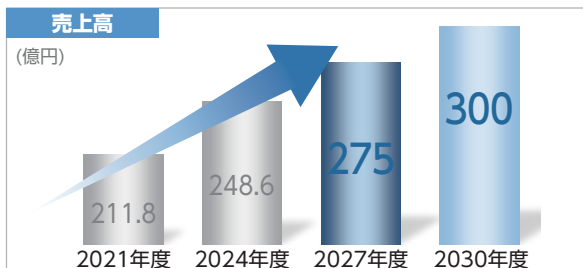
4 経営効率化の推進

成長戦略をより確実なものとするべく、業務改革や組織の最適化、収益マネジメント強化など更なる変革を実行し、生産性向上・経営効率化を進めていく。

計数目標

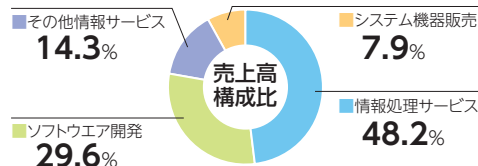
指 標	2021年度 実績	Keep On Changing		
		第一期	第二期	第三期
		2024年度 実績	2027年度 目標	2030年度 目標
売上高	211.8億円	248.6億円	275億円	300億円
営業利益	9.4億円	18.4億円	23億円	28億円
営業利益率	4.4%	7.4%	8%	9%
R O E	5.0%	8.9%(※)	9%程度	9.5%~10%程度

※：一過性の要因を除いた数値

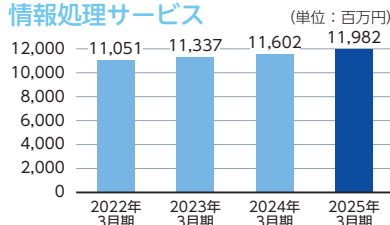


POINT

- ソフトウェア開発においては、一般法人、自治体、及び金融機関向けの大型案件増加などにより増収増益
- 金融機関向け運用業務の受注、及び自治体情報システム標準化対応案件の受注などが増加



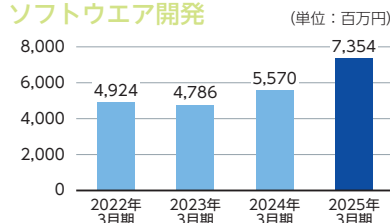
情報処理サービス



情報処理サービスでは、データセンターを基盤に、大型汎用機を中心とした受託計算サービスとデータ入力・印刷・デリバリ等の周辺業務を併せたトータルなサポートとしてIDCサービス、クラウドサービス、BPOサービスを提供しております。

金融機関向け運用業務の受注増加、及び自治体情報システム標準化対応案件の受注などにより、売上高は11,982百万円（前連結会計年度比3.3%増）となりましたが、データセンターにかかる人件費、機械費、修繕費の増加などにより、セグメント利益は1,924百万円（同0.5%減）となりました。

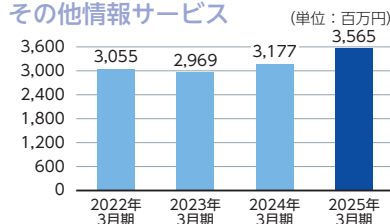
ソフトウェア開発



ソフトウェア開発では、長年にわたるソリューション提供の実績とエンジニア経験を活かし、金融機関・公共団体・一般法人など幅広い業界・業種のお客様に対して、情報戦略策定支援等のシステムコンサルティング、アプリケーション・ソフトの受託開発などを提供しております。

一般法人、自治体、及び金融機関向けの大型案件増加などにより、売上高は7,354百万円（前連結会計年度比32.0%増）、セグメント利益は1,200百万円（同54.3%増）となりました。

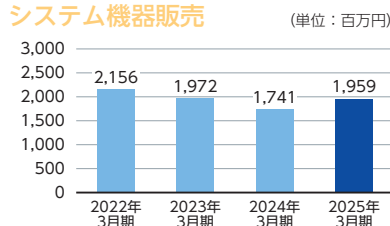
その他情報サービス



その他情報サービスでは、ネットワークの設計・構築、システムパッケージ商品の提供や導入支援サービス、情報セキュリティや事業継続マネジメントに関わるコンサルティングなどを提供しております。

自治体、及び金融機関向けパッケージソフト販売の増加や、一般法人向けサーバ更改案件の受注などにより、売上高は3,565百万円（前連結会計年度比12.2%増）、セグメント利益は545百万円（同2.0%増）となりました。

システム機器販売



システム機器販売では、マルチベンダーとして特定のコンピュータメーカーに依存せず、お取引先の多様なニーズにマッチした最適なコンピュータ機器の選定・販売や、関連する周辺機器・備品、コンピュータ帳票の販売を行っております。

一般法人向け機器販売の増加などにより、売上高は1,959百万円（前連結会計年度比12.5%増）、セグメント利益は105百万円（同427.3%増）となりました。

連結財務諸表



連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度末 (2024年3月31日)	当連結会計年度末 (2025年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	11,218	12,499
固定資産	9,602	9,076
有形固定資産	5,349	4,994
無形固定資産	1,517	1,274
投資その他の資産	2,735	2,807
1 資産合計	20,820	21,576
【負債の部】		
流動負債	4,912	5,341
固定負債	2,055	1,573
2 負債合計	6,968	6,915
【純資産の部】		
株主資本	12,929	13,806
資本金	1,431	1,431
資本剰余金	506	506
利益剰余金	11,413	12,332
自己株式	△421	△463
その他の包括利益累計額	923	855
3 純資産合計	13,852	14,661
負債純資産合計	20,820	21,576

1 資産合計

契約資産が1,346百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比756百万円増加して21,576百万円となりました。

2 負債合計

買掛金が325百万円増加の一方、リース債務が396百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比53百万円減少して6,915百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	22,092	24,862
売上原価	16,739	18,698
売上総利益	5,352	6,164
販売費及び一般管理費	4,080	4,314
営業利益	1,272	1,849
営業外収益	68	99
営業外費用	54	49
経常利益	1,286	1,900
特別利益	145	2
特別損失	15	8
税金等調整前当期純利益	1,415	1,894
法人税、住民税及び事業税	578	591
法人税等調整額	△99	△76
当期純利益	936	1,379
親会社株主に帰属する当期純利益	936	1,379

3 純資産合計

剰余金の配当270百万円、自己株式の取得240百万円による減少の一方、親会社株主に帰属する当期純利益1,379百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末比809百万円増加して14,661百万円となりました。

株主優待制度



保有株式数	継続保有期間	優待内容
2単元株(200株)未満	—	対象外
2単元株(200株)以上	1年以上	VJAギフトカード 1,000円分
		QUOカード 1,000円分
5単元株(500株)以上	1年以上	VJAギフトカード 2,000円分
		QUOカード 2,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
10単元株(1,000株)以上	1年以上	VJAギフトカード 3,000円分
		QUOカード 3,000円分
	3年以上	VJAギフトカード 5,000円分
		QUOカード 5,000円分



優待基準日:3月末日 贈呈時期:6月頃



優待基準日:9月末日 贈呈時期:12月頃

※保有1年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して5回以上記載されていることといたします。
 ※保有3年以上とは、毎年3月、6月、9月及び12月の各末日の当社株主名簿に、同一株主番号で継続して13回以上記載されていることといたします。

株主の皆さまの
声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは
株式会社デザインウェブ
の登録商標です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝を進呈させて
いただきます。

本アンケートは、
株式会社プロネクサスの提供する
「コエキク」サービスにより
実施いたします。
アンケートのお問い合わせ
「コエキク事務局」
koekiku@pronexus.co.jp

前回のアンケートでは、多数のご回答ありがとうございました。皆様からの貴重なご意見につきまして、今後も本誌作成の改善に活用させていただき、内容の充実に努めてまいります。

会社概要 (2025年3月31日現在)

商 号	AGS株式会社 AGS Corporation
設 立	1971年7月
上 場 市 場	東京証券取引所スタンダード市場 証券コード：3648
資 本 金	1,431百万円
事 業 内 容	情報処理サービス ソフトウェア開発 その他情報サービス システム機器販売
従 業 員	連結 1,069名
本 社	〒330-0075 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25 TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
浦 和 ソリューション センター	〒336-0027 埼玉県さいたま市南区沼影1-13-1 ナリア・テラス3階 TEL：048-839-5611 FAX：048-877-3500
連 結 子 会 社	AGSビジネスコンピューター株式会社 AGSプロサービス株式会社 AGSシステムアドバイザー株式会社(※) ※当社は、2025年4月1日付にてAGSシステムアドバイザー株式会社を吸収合併いたしました。

埼玉県立大宮工業高等学校より 感謝状を拝受しました

埼玉県立大宮工業高等学校へのマイスター・ハイスクール事業の取り組みが評価され、同校より感謝状を拝受しました。当社はこれまで、大宮工業高校に対し、「マイスター・ハイスクール CEO」としての社員派遣やRPAの授業、同校教員への教育などの活動を行ってまいりました。

当社は、今後もこのような地域社会活動を通じて、未来を担うIT人材の創出に寄与する活動に貢献してまいります。



(左：当社
中野社長
右：大宮
工業高校
山崎校長
(当時))

株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	6月
定時株主総会基準日	3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単 元 株 式 数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵 送 物 送 付 先	〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
電 話 照 会 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	当社ホームページ (https://www.ags.co.jp/) に電子公告により掲載します。なお、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社等
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

AGS株式会社

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25
TEL：048-825-6000 FAX：048-822-7337
<https://www.ags.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

